



菅又揚水機場

菅又揚水機場

菅又調整池から小宅吐水槽へ

菅又調整池に貯水された用水は、現体取水塔より導水管を通して直接この機場により小宅吐水槽に圧送されます。塩田揚水機場と同様に調整池の水位がポンプより高いところに位置するために一般の揚水機場に見られる吸水槽がありません。

3台のポンプで最大毎秒0.672m³の用水を送ることが出来ます。本機場と吐水槽との標高差は約68mあります。

●菅又揚水機場諸元

位 置	栃木県芳賀郡茂木町大字上菅又
構造形式	RC構造平屋建 10.8m×22.6m
面 積	建築面積265m ² 、延床面積244m ²
ポンプ形式	横軸両吸込単段渦巻ポンプ
ポンプ口径・台数	φ350mm×3台
ポンプ全揚程	H=78m
計画揚水量	Q=0.224m ³ /s ×3台
電動機出力	250kW×3台
抵抗器	金属抵抗器(起動)



ポンプ室



小宅吐水槽

豆知識

「ポンプ」あれこれ

ポンプの形式には

- ①遠心力で流体を動かす渦巻ポンプ
- ②揚力で流体を動かす軸流ポンプ、軸流形チューブラポンプ
- ③遠心力と揚力で流体を動かす斜流ポンプ、斜流形チューブラポンプがあります。

●小宅吐水槽諸元

構造形式	PC構造
直 径	16.8m
HWL	TP179m
LWL	TP175m
有効容量	890m ³